

November 2012 vol.32

H&B

Health & Beauty
Review

[ヘルス&ビューティー・レビュー]

11月号

特集

美と健康 知っておきたい 本当のこと

第2弾 皆さんの質問の答えを聞いてきました!

美容医療に関する悩み

取材・文／海野由利子

Q1

目の下のクマは
生活環境を
整えれば消える？
手術で
目立たなくなる？

(56歳)

A クマの種類によっては
美容医療で
改善可能です

低 体温の方や疲れがひどくなると出てくる“青グマ”は、体を温める、冷たいものを飲まないようにする、休養するなど、生活を変えないと改善しにくい。ロングパルスヤグレーザーなどで皮膚を温めて血流や代謝をよくする治療もありますが、1週間程度の改善なので一時的ケアと考えるのがいいでしょう。

いわゆる“茶グマ”はメラニンが色素沈着している状態で、アレルギー性結膜炎や目もとをこする癖などが原因です。こするのをやめて、目に入らないように美白剤を塗る治療を行います。さらに積極的な治療を望まれるなら、弱いパワーでメラニンを消していく“レーザートーニング”を行います。

また、遺伝的に“茶グマ”になりやすい方は治療効果が出にくいですが、なんとか改善できます。まれに、両側性太田母斑や遅発性両側性太田母斑様色素斑によって、両目の下がグレーがかった色素沈着を起こしている場合があります。この場合は、Qスイッチレーザーを使った治療になります。

そして、下まぶたのたるみや、目もとの影りが深くて影ができる場合に“クマ”に見えることがあります。これはうっ血や色素沈着ではなく形態の問題なので、ヒアルロン酸注入などで改善できます」（根岸圭先生）

クマの種類によって改善策が変わるので、診断する医者の“診断力”によると言えそう。

私 も少し前までは主要メーカーの機械の名前、治療法はすべてわかっていましたが、今は照射系の治療が得意な医師でも無理でしょうね。以前は、たとえばA、B、Cと分類できましたが“AにBの機能を搭載”という複合機が増えているし、“Aのパワー設定を変えるとCの効果が得られる”など、使い方のアレンジも多くなってきたので。機種と効果を整理して覚えたい気持ちはわかりますが、どの機械でどんな治療をするのがふさわしいかは、症状を診察する医師が判断することです」（根岸先生）

編集部でも一覧表作成を試みたが、ひとつの機種でも使い方によっていくつもの“治療法”ができたり、ヘッドを替えると別の効果が得られるなど、かなり複雑になっ

ているので、わかりやすいものをつくるのは無理と判断した。照射治療を得意とする医師でも、「新しい機械を積極的に導入して、既存の機械と組み合わせることが好き」という人もいるし、「使い慣れた機械のパワー設定や照射法を変えて、いろいろな効果を引き出すのが好き」な医師もいる。そんな状況の現在、患者となる側が機械や治療法にこだわるのはあまり意味のないことになっている。覚えたところで、受診したクリニックにその機械がなかったり、医師が使い方をマスターしていないことも考えられるのだから。大切なのは“どこを、どうしたいのか”を伝えること。提案された治療法について質問したり調べることで知識も増えていこう。

Q2

美容医療で使う
機械が多くて
効用や違いが
わからない。
一覧表はできない？

(42歳)

A パワー設定や
照射方法によっても違うので、
一覧にするのは無理です

病院

病
気

体

美
容

食
や
食
品

サ
ブ
リ
メ
ン
ト

運
動

ダ
イ
エ
ツ
ト

メ
ン
タ
ル

エ
ビ
デ
ン
ス

日本形成外科学会専門医 専門は形成外科一般のほか、乳房再建、レーザー、抗加齢美容医療、フットケアなど。眼瞼下垂の進行度合いの計測法の研究に関わるなど、眼瞼下垂に関する臨床研究も多く、日本形成外科学会や日本美容外科学会などで発表を行なっている。

医学博士 フォトフェイシャルなどIPL治療を日本に導入した医師。機器を用いた美容治療、抗加齢治療を研究。見た目が及ぼす心理的影響、治療による皮膚変化の客観的評価、肝斑の安全な治療なども研究。アメリカレーザー学会ではアジア人のレーザー治療の講師を務める。

Q3

シミを取るのに、一番いい方法を教えてください (43歳)

A シミの種類によって、適した治療法は変わります



老人性(日光性)色素斑の一例 後天性両側性太田母斑様色素斑と肝斑が混在している一例

老 人性(日光性)色素斑なら、レーザー、IPL、美白剤が適応。肝斑は刺激で悪化するので内服薬と塗り薬の治療が一般的。

Qスイッチレーザーを低出力で照射するトーニング治療法も効果を挙げています。IPLを使う場合は症状に応じた設定にすることが重要。ケミカルピーリングやイオン導入も効果があります。出っ張っているシミ・脂漏性角化症は、色を消すだけではなく、液体窒素や炭酸ガスレーザーで凸部分をフラットにする必要があります。切り傷ややけど、湿疹、にきびができた後に残る炎

症性色素沈着は、炎症がなくなってからならレーザーや塗り薬で治療ができます。灰色っぽいシミは後天性両側性太田母斑様色素斑の可能性があり、この治療にはレーザーしかありません。シミにはいろいろな種類があり、治療法も異なります。大人の場合は違う種類のシミが重なっていることも多いので、照射の刺激で悪化させないように注意しながら複数の治療を組み合わせていきます」(根岸先生)

複雑になりがちな大人のシミは、シミ治療が得意で経験豊富な医師にかかることが重要になる。

皮 膚や腱の弾力が低下するとまぶたがたるみ、目を開けにくくなります。すると、眉毛を持ち上げることでまぶたを開けたり、あごを上げて物を見るようになるので、額の前頭筋や後頭筋、首の後ろから背中にかけての僧帽筋の緊張状態が続きます。それが“こり”となり、頭痛や肩こりとなって表れます。症例研究を行なった眼瞼下垂の患者さんの98%は頭痛や肩こりの症状が

あり、そのうちの多くの方々が、眼瞼下垂の手術により程度の差はありますが症状が改善したというデータを得ているので、手術が効果的と考えています」(衛藤明子先生)

外科手術以外の改善法には、ボトックス注射による“ボトックスリフト”がある。眉山を持ち上げたり、目もとをリフトアップさせることでまぶたを開けやすくなり、頭痛や肩こりが和らぐ効果が得られることがある。

Q4

まぶたのたるみなど、目の上のうっとうしさと頭皮、背中に関係ありますか? (56歳)

A 頭や首、背中の筋肉が緊張するので“こり”を感じやすい

Q5

超音波治療は不快。身体への悪影響はありませんか? (44歳)

A 現在のところ悪影響の報告はありません

超 音波の治療器はキャビテーションやウルセラなどがあり、狙った深さに波長を集中させることで熱刺激を与え、脂肪の細胞膜を破壊したり、コラーゲンの再生を促す施術。特に超音波の施術は、その特性から「キーン」という音が聞こえるので不快に感じる人もいます。この治療が導入されたときから「音が苦手な人には向かない」ということが言われ、患者さんへの説明を行うことになっている。現在、超音波治療によるリスクや害の報告はないが、数年後や

10年後にも問題がないとは断言できない。

リスクが心配になるほど不快な場合は「向いていない」と言えるので、同じような効果のある別の治療法にしたほうがいいだろう。心配ならば、担当の医師に疑問を伝えて対応策を考えてもらおう。新しい機械での治療は、耐えられないほどの不快感が生じる可能性もあるので、まずは初回だけの体験治療が安心だ。たとえ“お得”でも、いきなり複数回照射のコースを契約するのは無謀というもの。